



THE ADECCO GROUP

道路貨物運転手を対象にした働き方に関する調査 道路貨物運転手の 5 人に 1 人が、睡眠不足や疲労が原因で 事故を起こした、もしくは起こしそうになったことがある

【2019 年 10 月 16 日 東京】

人財サービスのグローバルリーダーであるアデコグループの日本法人で、総合人事・人財サービスを展開するアデコ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：川崎 健一郎、以下「アデコ」）は、近年人手不足が深刻であると言われている運送業界で正社員もしくは契約社員として勤務する日本全国の道路貨物運転手 400 名（長距離運転手 200 名、短距離運転手 200 名）を対象に、働き方に関する調査を行いました。

【調査結果まとめ】

道路貨物運転手の 5 人に 1 人が、睡眠不足や疲労が原因で事故を起こした、もしくは起こしそうになったことがあった

道路貨物運転手の約 6 割は稼働日の平均的な睡眠時間が 6 時間未満で、約 5 割は年間の有休取得数が 5 日未満であった

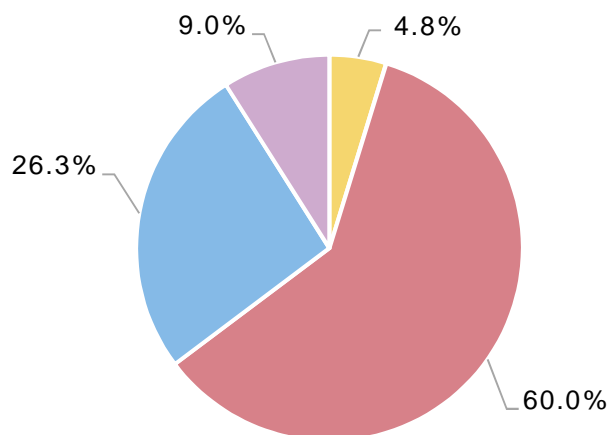
道路貨物運転手の悩みとしてもっとも多く挙げられたのは、「給与が低い」こと

< 調査結果詳細 >

（1）道路貨物運転手の 1 日あたりの平均的な拘束時間は「8 時間～13 時間未満」がもっとも多く、全体の 6 割を占める

厚生労働省では、道路貨物運転手の拘束時間（労働時間と休憩時間を合わせた、始業から終業までの時間の合計）を、原則として 1 日 13 時間以内、延長する場合でも最大 16 時間以内と定めています¹。日本全国の道路貨物運転手 400 人に対し、「1 日あたりの平均的な拘束時間は何時間ぐらいですか」と質問したところ、もっとも多かったのは「8 時間～13 時間未満」（60.0%）、次に多かったのが「13 時間～16 時間未満」（26.3%）でした。「16 時間以上」と答えたのは 9.0%でした。

1 日あたりの平均的な拘束時間（n=400・単一回答）

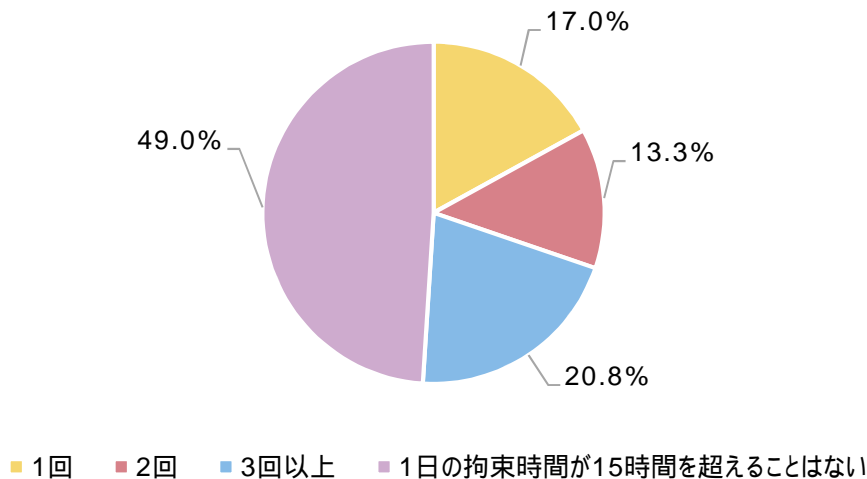


■ 8時間未満 ■ 8時間～13時間未満 ■ 13時間～16時間未満 ■ 16時間以上

(2) 道路貨物運転手の2割が、「1日の拘束時間が15時間を超えることが週に3回以上ある」と回答

厚生労働省では、道路貨物運転手の拘束時間を1日最大16時間以内まで延長することを認めていますが、15時間を超えることができるのは週に2回までと定めています²。日本全国の道路貨物運転手400人に対し、「1日の拘束時間が15時間を超えることが週に何回ぐらいありますか」と質問したところ、約半数となる49.0%は「1日の拘束時間が15時間を超えることはない」と回答する一方、「3回以上ある」と答えた回答者が20.8%でした。

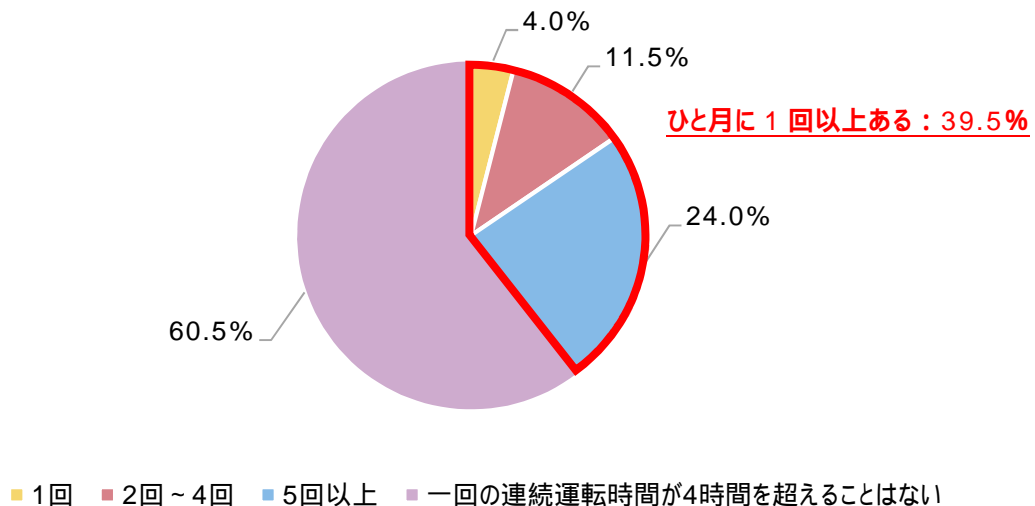
1日の拘束時間が15時間を超えることが週に何回あるか
(n=400・単一回答)



(3) 道路貨物運転手の約4割が、連続運転時間の規制に抵触する可能性

厚生労働省では、道路貨物運転手は運転開始後4時間以内または4時間経過直後に30分以上の休憩等を確保しなければならないと定めています³。日本全国の道路貨物運転手400人に対し、「1回の連続運転時間が4時間を超えることがひと月に何回ぐらいありますか」と質問したところ、「1回以上ある」と回答したのが全体の約4割(39.5%)に上りました。また、24.0%の運転手は、「5回以上ある」と答えていました。

1回の連続運転時間が4時間を超えることがひと月に何回あるか
(n=400・単一回答)

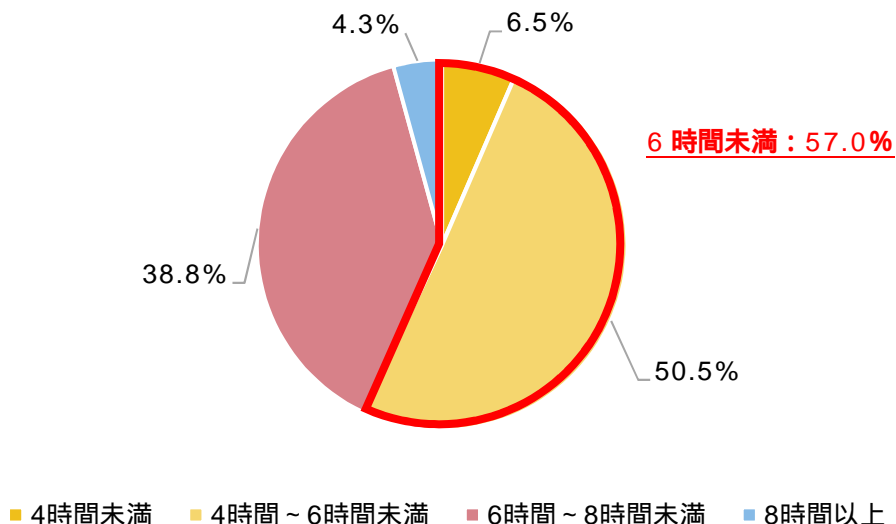




(4) 道路貨物運転手の約 6 割は、稼働日の平均的な睡眠時間が 6 時間未満

日本全国の道路貨物運転手 400 人に対し、「稼働日の平均的な睡眠時間は何時間ぐらいですか」と質問したところ、「4 時間未満」と回答したのが 6.5%、「4 時間～6 時間未満」と回答したのが 50.5%で、約 6 割となる 57.0%の運転手は、稼働日の平均的な睡眠時間が 6 時間未満であることがわかりました。

稼働日の平均的な睡眠時間 (n=400・単一回答)

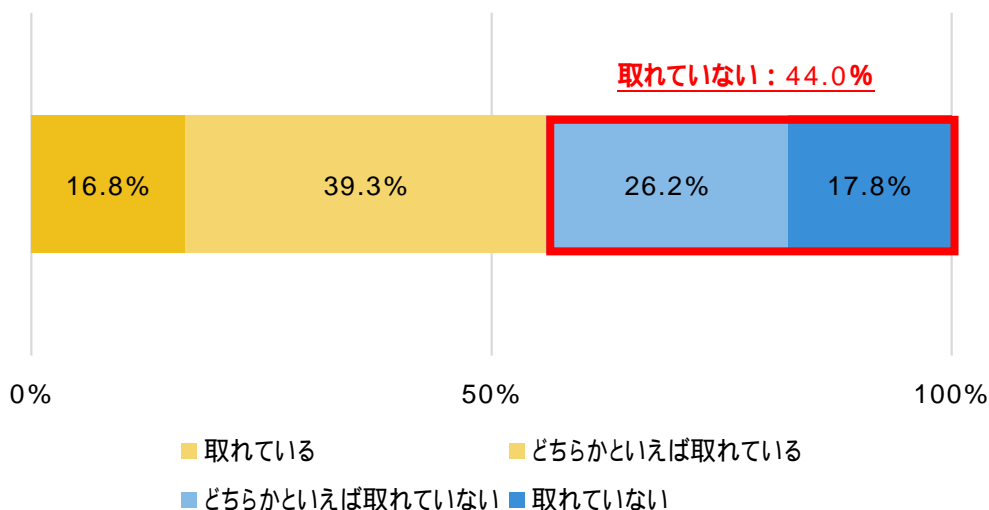


(5) 道路貨物運転手の 5 人に 1 人が、睡眠不足や疲労が原因で事故を起こしたこと、もしくは起こしそうになったことがあった

日本全国の道路貨物運転手 400 人に対し、「睡眠や仕事中の休憩など、体を休める時間を十分に取れていますか」と質問したところ、4 割以上となる 44.0% (176 人) が「取れていない」と回答しました。

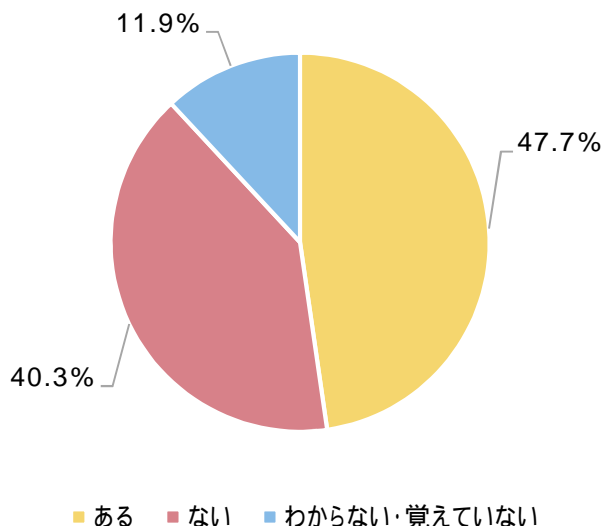
「体を休める時間を十分に取れていない」と回答した 176 人に対し、「睡眠不足や疲労が原因で事故を起こしたこと、もしくは起こしそうになったことはありますか」と質問したところ、約半数にあたる 47.7% (84 人) が「ある」と回答しました。結果として、運転手の 5 人に 1 人が、睡眠不足や疲労が原因で事故を起こしたり起こしそうになったりしていたことがわかりました。

体を休める時間を十分に取れていると思うか (n=400・単一回答)





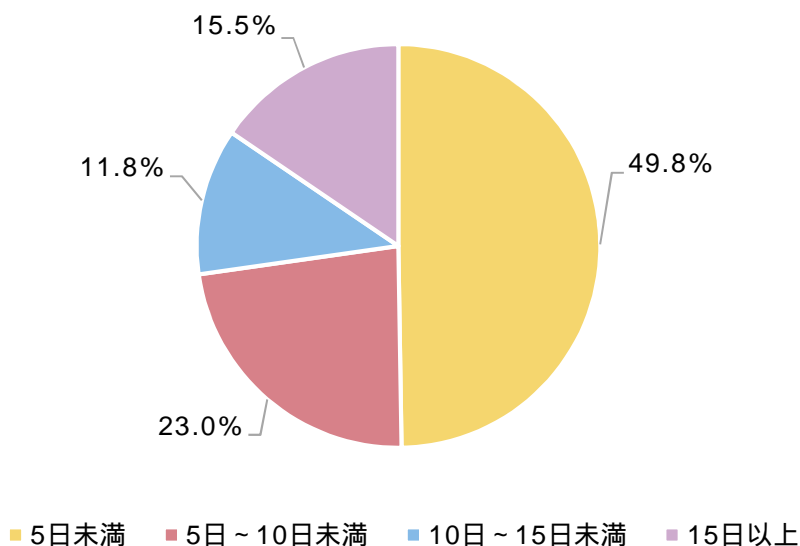
**睡眠不足や疲労が原因で事故を起こしたこと、
もしくは起こしそうになったことがあるか (n=176・単一回答)**



(6) 道路貨物運転手の約 5 割は、年間の有休取得数が 5 日未満

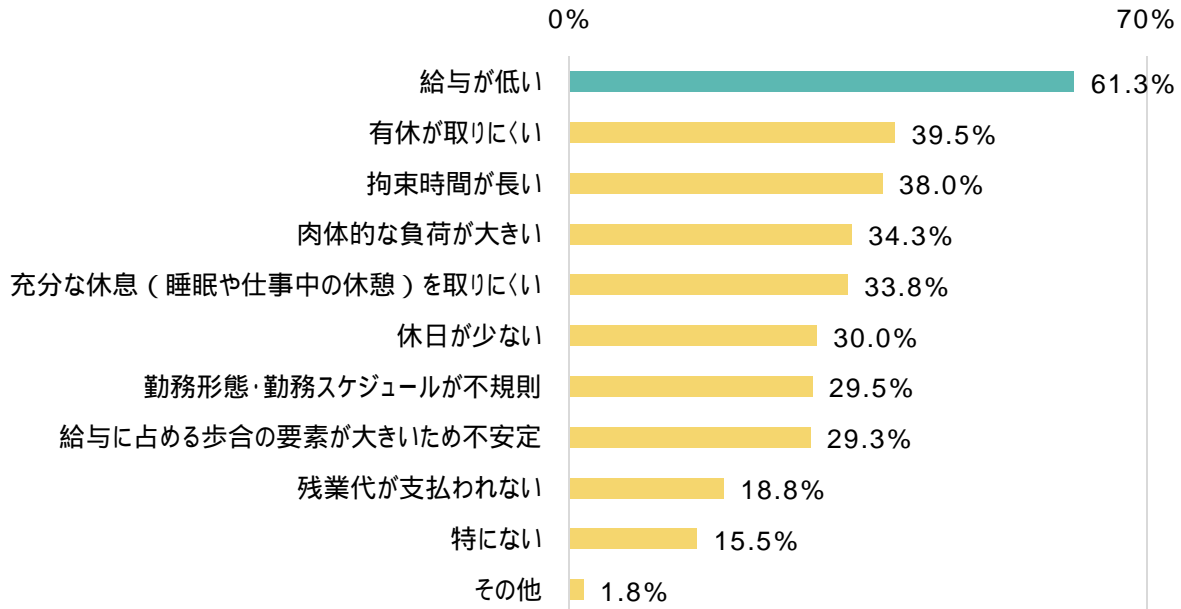
2019 年 4 月から、すべての使用者に対して年 5 日の年次有給休暇の確実な取得が義務付けられています。日本全国の道路貨物運転手 400 人に対し、「年間の有休取得日数は何日ぐらいですか」と質問したところ、約 5 割となる 49.8%が、「5 日未満」と回答しました。

年間の有休取得数 (n=400・単一回答)

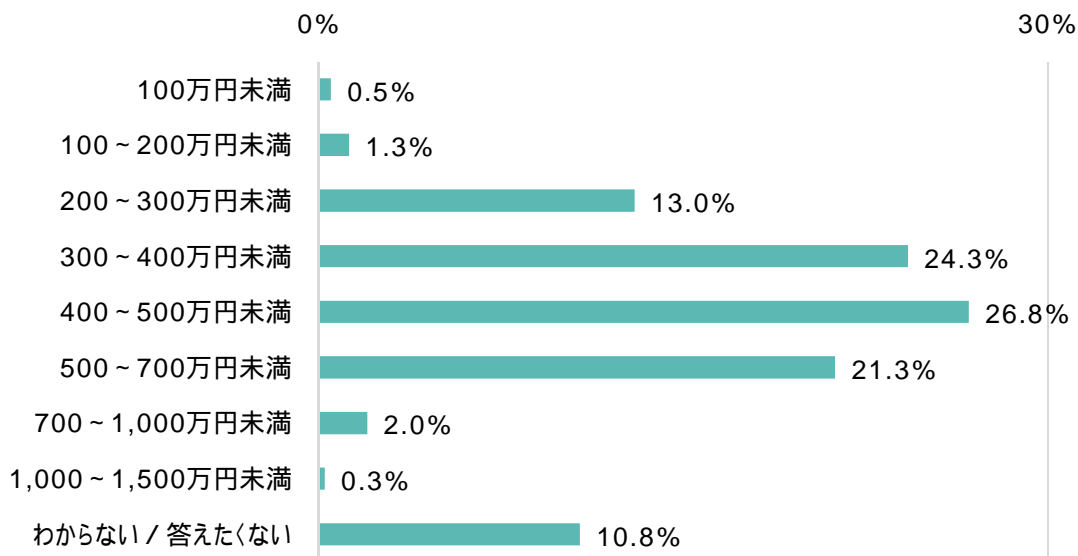


**(7) 道路貨物運転手の悩みとして、もっとも多く挙げられたのは「給与が低い」こと**

日本全国の道路貨物運転手 400 人に対し、「道路貨物運転手として働かなかで、悩んでいることは何ですか」と質問したところ、もっとも多かったのが「給与が低い」で、6 割以上となる 61.3% が悩みとして挙げました。

道路貨物ドライバーとして働かなかで悩んでいること (n=400・複数回答)**(8) 道路貨物運転手の約 4 割が年収 400 万円未満の一方、500 万円～700 万円も 2 割以上**

日本全国の道路貨物運転手 400 人に対し、個人としての年収を質問したところ、約 4 割（39.0%）は 400 万円未満という結果になりました。回答としてもっとも多かったのは「400 万円～500 万円未満」で、全体の約 3 割（26.8%）を占めました。また、「500 万円～700 万円」と答えた回答者が 21.3%と、2 割を超えました。

年収 (n=400・単一回答)

*1, *2, *3 : 厚生労働省「トラック運転者の労働時間等の改善基準のポイント」

**【調査対象者属性】**

性別	%
男性	97.0
女性	3.0

年齢	%
20代	0.0
30代	8.8
40代	43.5
50代	41.5
60代	6.3

運転手の種別	%
長距離運転手 ⁴	50.0
短距離運転手 ⁵	50.0

*4：長距離運転手 = 片道 300km 以上の距離を配送する運転手

*5：短距離運転手 = 半径 200km 以内の距離を配送する運転手

【調査概要】

調査対象： 日本全国の道路貨物運転手として勤務する男女（道路貨物運転手としての勤務歴 1 年以上の方）

サンプル： 400 名

調査方法： インターネット調査

実施時期： 2019 年 9 月 26 日～9 月 30 日

回答結果はパーセント表示を行っており、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しているため、各回答の合計が 100% にならない場合があります

アデコ株式会社について

アデコ株式会社は、世界 60 の国と地域で事業を展開する世界最大の人財サービス企業、The Adecco Group の日本法人です。コンサルテーションを通じ、働くすべての人々のキャリア形成を支援すると同時に、人財派遣、人財紹介、アウトソーシングをはじめ、企業の多岐にわたる業務を最適化するソリューションを提供します。アデコはより働きがいを感じられる社会の実現を目指し、さらなるサービスの強化に取り組んでいます。当社に関するより詳しい情報は、www.adecco.co.jp をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

アデコ株式会社 広報部

Tel. 050-2000-7024